

## 7日 木曜

### 詩篇



<67> 指揮者のために。弦楽器に合わせて。  
賛歌。歌。

67:1 どうか神が私たちをあわれみ祝福し御顔を私たちの上に照り輝かせてくださいますように。セラ

67:2 あなたの道が地の上で御救いがすべての国々の間で知られるために。

67:3 神よ諸国の民があなたをほめたたえ諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。

67:4 国々の民が喜びまた喜び歌いますように。それはあなたが公平に諸国の民をさばき地の国民を導かれるからです。セラ

67:5 神よ諸国の民があなたをほめたたえ諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。

67:6 大地はその実りを産み出しました。神が私たちの神が私たちを祝福してくださいますように。

67:7 神が私たちを祝福してくださいり地の果てのすべての者が神を恐れますように。

祝福を祈る歌です。ただし、自分だけが祝福されれば良いというような、自分中心ではありません。「諸国の民があなたをほめたたえ、諸国の民がみなあなたをほめたたえますように。」というように、人々のために思っていることです。

私たちはもちろん自分のために祈ることは良いことではありません。しかしそれも、宣教のためかどうか、主の栄光のためかどうか、それが大切です。この世の多くの人もクリスチャンが祝福された喜びに満たされているなら、主に心を向けるでしょう。そのために主に願いましょう。人はうわべを見ますが、主は心をご覧になります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

